

# 肺腫瘍・縦隔腫瘍切除術を受けられる患者さんへ

患者ID  
氏名

担当医  
担当看護師

配布日

	入院:1病日	2病日	3病日	4~5病日	6~7病日:退院	【退院後の生活について】	
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2~3日目	手術後4~5日目	
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・めまいや失神、動悸がない ・痛みによる苦痛がない ・ドレーンが固定できている	・ドレーン抜去部に発赤・腫れ・出血・浸出液がない		・退院指導の内容を理解できる	(内服薬について) ・痛みは我慢せずに鎮痛剤を内服してください。追加で内服する場合は、間隔を6時間はあけてください  (活動について) ・手術をした方の腕は動かさないと腕の関節が硬くなり、上半身の筋力低下を起こします。無理のない程度に肩関節と上半身の運動を続けてください ・胸郭を広げるストレッチも自分のペースで継続してください。痰を出しやすくします ・仕事を始める時期には個人差がありますので、医師と相談してください
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します		・鎮痛薬を内服します(毎食後、眠前)	 ・胃薬を内服します(朝食後)(3日間)			(飲食について) ・食べ過ぎは横隔膜を押し上げ呼吸を浅くするため、腹八分目を心がけてください ・水分を摂ることは痰をスムーズに出すためにも必要です。ただし、飲水制限のある方は、指示量をお守りください
手術		手術 					(入浴について) ・入浴は、手術後の筋肉のこばり予防し、傷口を温めることで痛みを和らげる効果があります ・創部を洗う時は、石鹸やボディソープをしっかりと泡立てて、こすらず優しくなように洗い、シャワーで流した後はおさえ拭きをしてください
注射		・手術が2番目以降の方は病棟で点滴をします		・点滴を抜きます			以下の症状がある時はご連絡ください ・創部が化膿したり、赤く腫れている ・痰の量が増えた ・赤いさらさらした痰が出る ・咳が続く ・38.0度以上の発熱がある ・動悸、息切れがある
検査	・採血 		・採血 ・レントゲン 	・採血 ・レントゲン 			[緊急連絡先] ・平日時間内 (8:30~17:00) 呼吸器外科外来 :0985-85-9885 総合予約室 :0985-85-1225
処置		・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・フットポンプを外します ・歩行後は、弾性ストッキングを脱ぎます			・土日・祝日、時間外 3階東病棟 :0985-85-1769
食事	・夕食後は、指示された時間から飲食はできません	・飲食はできません 	・17時から飲水できます。初めて飲水する時は看護師が介助します ・18時にカロリーメイトを飲んでもらいます。その後、夕食(全粥食)を食べます	・制限はありません 			
活動・安静	・制限はありません	・病室内でお過ごしください	・ベッド上安静です ・排泄の時はポータブルトイレを使用しますので、ナースコールでお知らせください	・制限はありません ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください			
清潔	・シャワー浴をしてください 	・洗面、歯磨きを済ませてください	・看護師の介助で、歯磨き、顔拭きをします	・身体を拭きます	・シャワー浴ができます		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・術前オリエンテーションを行います				・退院後の生活について説明します ・呼吸機能の低下を防ぐため、胸郭を広げるストレッチの方法を説明します		
その他	・手術の同意書は職員にお渡しください ・爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧を落としてください	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、保管してください ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、3階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・医師の許可後、うがいはできます ・痛みがあれば鎮痛剤を追加で使用できますので、我慢せずにお知らせください				

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。